



神奈川県立鶴見支援学校
地域連携グループ・進路チーム NO. 4
令和7年11月25日発行

2学期も残り1ヶ月となりました。修学旅行や学習発表会など学校生活を彩るさまざまな学校行事がありました。行事を通して、学年やクラスの団結力も高まったように感じます。引き続き、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

さて、今回は本校高等部3年の現場実習、卒業生の集い、中学部の働く学習について紹介します。

本校 高等部3年 現場実習

9月24日（水）から後期現場実習がはじまり、それぞれ前期とは違う実習先で作業に取り組みました。実習場所が違っていても前期実習の経験から、みんなスムーズに取り組むことができ、成長を感じました。また、前期の反省を活かし、より集中して取り組み高評価を得た方や、先輩利用者さんたちから「実習が終わって寂しい」と言われるくらい実習先の雰囲気に馴染んでいたり、「とても戦力になっていたので、来週もまた来てほしいくらいです」と言われたりする方もいました。みんな持てる力を発揮して、充実した現場実習となりました。

中学部 働く学習

中学部では、働く学習として、生活単元の中で2年生や3年生が学習しています。中学部卒業後は、高等部へ行くというイメージはついている生徒が多いですが、高等部卒業後はというと、なかなかイメージするのは難しいです。そのため、学校を卒業したら何をするのだろう？というところから学習を始めています。どんな仕事があるのだろう？自分がやってみたい仕事は何だろう？みんなが大好きな『はたらくくるま』の曲に合わせ絵カードや動画を見たり、替え歌を作って歌ってみたり、わかりやすくなるように授業を行っています。最終段階は、修学旅行キッザニアでのお仕事体験！3年生は今まさにお仕事何しようかな？と選んで楽しみにしています。

卒業生の集い

10月13日（月）、卒業生の集いが開催されました。本校は食堂、分教室は音楽室にそれぞれ分かれ、多くの卒業生と保護者が来校されました。旧担任との思い出話や近況報告に花を咲かせ、とても盛り上がる会となりました。

